

東大沢保育園で働くことで 自分の事が好きになりました。



保育士を目指したきっかけはなんですか？

私自身3ヶ月から保育園に入園していて、楽しい日々を過ごした記憶が残っていました。高校生の時、近所の公園で泣いている子ども（迷子）を交番まで送り届けるとき、自分は『子どもを笑顔にする保育士になる』との使命感に駆られ、周りの反対を押し切り、今まで触ったこともなかったピアノの教室へ！その勢いのまま保育の世界に飛び込み、保育の楽しさの虜となっています♪

どんな保育園で働きたいと思っていましたか？

学生の時、様々な保育園でボランティアや実習をさせていただいた際に、子どもたちが自分自身で考え行動していることにとても驚き、子どもたちの可能性の大きさを感じました。

子どもたちの『やってみたい！』という主体的な学びを大切に、その気持ちを叶えることのできる環境で働きたいなと考えていました。



東大沢保育園は子どもの主体性を大切にする保育に取り組んでいると聞きましたが？

子どもたちとの生活や活動で大切にしていることは、子どもの気持ちを聞く事、子ども同士で話し合う事です。大人発信の活動は、どうしても結果を重視しがちです。しかし、子どもたちの『こんなのはどう？どうしてこうなる？』という声に耳を傾けると様々な広がりが見えます。時間をかけて、しっかりと見守るその中で子ども自身が考えたり、友だち同士話し合いながら間違つたり、失敗をしながらたくさんの経験をしていくことの中に学びがあると感じます。



異年齢保育っていかがですか？

違う学年の子どもたちが一緒に生活するって大変そう・・・。私もそう思っていました。

ですが、実際に生活を始めると子ども同士の関わりの中に、ほんわかする場面をたくさん見ることができました。年上のお友達は、私が何も言わなくても年下のお友達の着替えを手伝ってくれたり、お部屋でのお約束を丁寧に教えてくれたりします。

年下の子に絵本の読み聞かせをする堂々とした姿に、異年齢での関わりがもたらす優しさの循環が見られて、道徳性や人間性など、目には見えない人として大切なものが育つ良さを感じられます。

東大沢保育園を選んだその決め手とはどんな事ですか？

それはやはり『子どもの為に話し合える』風土です。面接の際も、子どもたちの為にできることは何だろう？私はこんなことしてみたいです！いいね！とまるで面接ではないような明るい雰囲気の中、たくさんの企画が生まれました。私の得意なことや好きなことも保育に生かしていくことが、毎日明日が来るのが楽しみな仕事って本当に素敵だなって思いました。



実際に働いてみて、どんな雰囲気でしたか？

毎日が、本当にキラキラと輝いている様です。子どもの事、クラスの事を考えて、悩むことはもちろんありますが、子どもたちや他の先生たちと笑顔で過ごす時間が、何より楽しいです。

子どもたちの言葉の中から見つけた楽しい活動が、また次の活動に繋がっていく・・・。『今日ね！こんなことがあったんだよ！！』と嬉しそうに自分のクラスの子どもの事を教えてくれる先生たち。そして子どもひとりひとりを中心に他の職員と話をする中で、自分の意見が認められ、たくさんの事を経験することができ、私自身の成長を実感できます。



同僚との関係は？

先輩、後輩関係なく仲がとっても良いです。
その中でも一番園長先生が明るくて面白いです♪

『こんなことやってみたいなあ～』とつぶやくと、進んで話し合いが始まりやってみよう！と同じ方向を見て楽しい企画を行えます。

年が近い職員も多く、『どうしよう？』と思った時に、すぐの相談できることも助かっています。



これからの目標を教えてください！

これからも、子どもたちと一緒に成長ができる保育士を続けていきたいです。

高校生の時に感じた『子どもを笑顔にする』だけでなく、子どもたちがこれから生きていく社会で、ひとりひとりが自分のことが大好きで、社会の中でどんなことがあっても生き抜いていける強さや優しさを育む手助けができるようにするために、子どもたちの1日1日を大切にする保育を考えていきたいです。

